



◎いよいよ石楠花祭!!

図書視聴覚委員会では毎年恒例『心からの手紙コンテスト』を国語科との共同企画として実施します。併せて、昨年度好評につき今年もダーツや福引きを準備して『縁日もどき』も実施する予定です。

更に今年は、前号でもお知らせしていましたが新企画、『校内ビブリオバトル』も実施します。コロナ禍で読み聞かせ活動ができなくなり、活動の場が減ってしまった分張り切っていきたいと思います。みなさんもテンションを上げていきましょう!!

なお、優勝者には県大会出場への道が開かれています。ここは一発一商の名を県下にとどろかせましょう \ (^ _ ^) /

◎ 資料の寄贈紹介

地域の方々より資料の寄贈を頂いたので紹介します。
図書館入口に展示している写真集『蓮の世界』と、
絵本『ハクチョウの恩返し』は、若柳在住の川嶋保美様
から、また、新聞コーナーにあります『日本農業新聞』
(10月から11月まで)は、JA 新みやぎ様から御寄贈
いただきました。ありがとうございました。



◎ 読書週間が始まります📖📖📖

今年も読書週間が始まります。期間は10月27日(水)から11月9日(火)までです。さらに初日の27日は「文字・活字文化の日」です。

今年で75回を数えるこの『読書週間』は戦後間もない、まだまだ戦争の傷跡が残る昭和22年に「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」と出版社や書店、公共図書館、それにマスコミ機関が加わり日本全国に呼び掛けたことから始まりました。

そもそも『読書の力』とはどのような力なのでしょう?答えは一つではないと思います。そのようなこともこの機会に考えて、みなさんなりの答えを探してみるのも有意義だと思います。

◎ 司書の読書話し

「ネタがつかまりましたか?」という声が聞こえてきそうですが…お察しのとおりです。今年『夏への扉』という映画が公開されました。原作(ロバート・A・ハインライン著)を読んでみました。仲間に裏切られ自暴自棄の技術者ダン・デビスとその飼い猫ピートの痛快リベンジSF小説でした。その中で、主人公は冷凍睡眠とタイムマシーンで現在過去未来を行ったり来たりします。その緻密な計画・行動には舌を巻きました。更にこの作品は昭和32年作ということで、もうただただ驚嘆でした。絶対オススメです!